



大場 洋介 議員

# 命と地域を守る 防災教育を

## 回答 女性の防災リーダー育成を強化

頻発する自然災害に対し、地域防災計画や防災意識を高めるには、大場洋介議員 この度の豪雨災害において、いち早い避難所開設や町が初めてとなる高齢者等世帯への避難の呼びかけ・対応などに評価する。今後の防災や被災を考慮した様々な備えは。

町長 令和5年3月に全面的に修正したが、能登半島地震を踏まえ、国・県の修正点を反映させる形で今年度末を目途に修正したい。配布予定の防災タブレットを含め、町独自の計画を盛り込んでいく。

大場議員 災害リスクとは自然災害を正しく認識する大切な情報の一つである。特に風水害に関する指標や評価

災害からの安全度としてのリスクの評価方法は

地区防災計画の現状と災害対応力を強化する自主防災組織の形成への課題は

大場議員 地区の防災計画での避難行動や避難所運営は机上での計画だけでなく、自主防災組織に女性の視点に立った災害対応も望まれる。自主防災組織の研修やワークショップ等の防災教育は。

町民税務課長 自主防災組織アンケートでは、規約を作成したが自主防災組織の存在が認知されていない。地区に限らず、女性がより活動しやすい組織の在り方を考える必要がある。



9/1 金山町総合防災訓練

方法は、町民税務課長 ハザードマップに被害想定区域が記載されている。しかし、どの程度リスクがあるかといった具体的評価方法はない。

万が一を考慮し、被害に遭遇した際の証明書発行の流れは

大場議員 罹災証明書は生活再建への第一歩と言われ、速やかな発行が求められる。事前の情報提示や自然災害

に遭遇した住宅への発行までの流れは、町民税務課長 被災者が申請を行う必要があり、市町村が被害認定調査を行う。被害の程度により全壊から一部損壊まで6段階で判定を行う。

外出先での災害に遭遇した場合での対応と人とペットの命を守る備えは

大場議員 普段生活する場所と違い、帰省・

大場議員 持続可能な社会に向けた諸施策は、フードバンク等の寄付への理解向上と受け皿となる体制整備が求められる。地域福祉にも繋がるシェアリングサービスやフードドライブの現状は。

環境整備課長 町社会福祉協議会と連携し、設置場所を増やす取り組み、広報やイベント等で周知・啓蒙を図る。

旅行中の災害の備えへの対応、また人もペットも助かるための対策は。

町民税務課長 不慣れな旅行先で突然被災する可能性はある。旅行者が意識して取るべき行動を広報で周知する。町と飼い主が対応できる部分を明確にする必要がある。

食品ロス発生の削減から始めるSDGsへの理解向上策は

# ただ 町政を質す ～一般質問～



9月定例会初日(9/5)に令和7年1月1日に町制施行100周年を迎えることを受け、議会及び執行部が記念ポロシャツを着用して本会議に臨んだ。また、新たにタブレット端末を導入した議会運営を開始した。(P15参照)



◆ 大場 洋介 議員 ..... P9

(1) 総合的な防災体制の充実について

(2) 食品ロス削減への取り組みについて



◆ 寒河江 宏一 議員 ..... P10

(1) 金山町の災害対策について



◆ 五十嵐 優一 議員 ..... P11

(1) 災害対策について



◆ 須藤 典夫 議員 ..... P12

(1) ホットハウスカムロの建て替えの進捗状況は

(2) 荘内銀行金山支店の閉店の影響は

(3) 「道の駅」の調査検討を行ってはどうか



◆ 中村 忠行 議員 ..... P13

(1) 地域おこし協力隊について